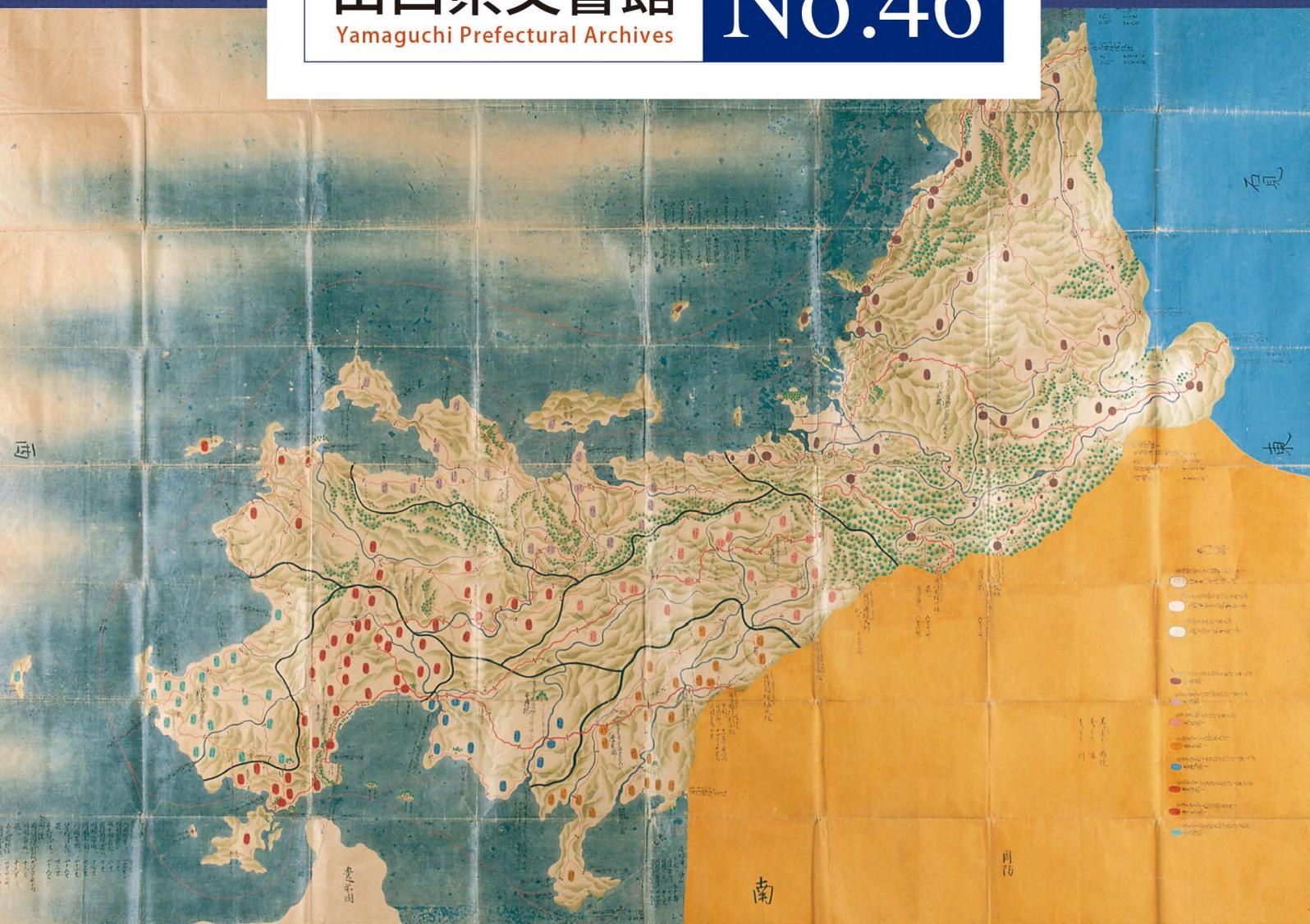


文書館 もん じよ かん ニュース

山口県文書館
Yamaguchi Prefectural Archives

No.46



CONTENTS

- 新しくなった山口県文書館Webサイト 1・2
- 「国民共有の知的資源」の保存と活用のために
— 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議 — 5
- 山口県文書館所蔵アーカイブズガイド—学校教育編— .. 3・4
- 平成23年度公開の諸家文書を紹介します! 6
- トピックス2011 5・6

山口県文書館

YAMAGUCHI PREFECTURAL ARCHIVES

新しくなった 山口県文書館Webサイト

http://ymonjo.ysn21.jp/

山口県文書館

GO

山口県文書館では、平成15年度から所蔵文書検索機能を中心とする

Webサイトを公開し、年々充実を図ってきました。

今回、利用者の皆様のご要望にお応えし、所蔵文書検索機能の更新を中心にリニューアルを行いました。

新しくなった当館サイトをぜひご利用ください。

山口県文書館について

- 山口県文書館の歴史
- 山口県文書館の業務
- 文書館ニュースPDF
- 研究紀要総目次
- 山口県文書館の刊行物
- 行事案内
- 資料小展示

文書を探す方へ

- 所蔵文書概要
- 所蔵文書検索
- 利用案内
- よりよい調査のコツ
- 閲覧室カレンダー
- Q&A
- 申請書ダウンロード
- 調査用ツール

教育に携わる方へ

- 古文書学習支援
- 学校教育支援
- アーカイブズガイド(学校教育編)

保存に携わる方へ

- 公文書保存の取り組み
- 地域資料保存の取り組み
- 保存関係規定・法令など

デジタルアーカイブズ

- 絵図・地図
- 写真・絵ハガキ
- ポスター・リーフレット
- 文書・記録
- 高画質画像ダウンロード
- 当館所蔵の指定文化財

メニュー一覧

アーカイブズガイドを掲載!

当館研究紀要第三八・三九号に掲載したアーカイブズガイド(学校教育編)、さらに五〇周年記念事業で出版したアーカイブズガイド(幕末維新編)のPDF版を掲載しました。特にアーカイブズガイド(学校教育編)は、カラー版でご覧いただけます。自由にダウンロードしてご利用ください。



アーカイブズガイド(幕末維新編)

貴重な資料画像を追加!

従来公開してきた館蔵の絵図や写真等の画像の他に、「広島御時代分限帳」、「高杉晋作履歴概要」(共に毛利家文庫)、近藤清石編「防長古文書誌」などの資料画像約三千五百枚を新たに公開しました。今後ともサイト上で閲覧できる資料を随時追加していきます。

所蔵文書の検索機能を充実!

諸家文書・行政資料を中心とする約十一万七千件のデータを新たに登録しました。

また、当館において閲覧可能な文書群に関する基礎的な情報と、「公儀事諸控」、「諸事小々控」、「山口県布達達書」の件名情報が新たに検索できるようになりました。

デザインを一新!

当館の外観をイメージした従来のデザインから、白を基調とする見やすいシンプルなデザインに一新しました。

また、デザインの変更に合わせてサイト全体の見直しを行い、新たなページを追加するなど、より使いやすくなりました。※左端「メニュー一覧」参照

画像表示画面



検索結果画面



トップページ



山口県文書館所蔵アーカイブズガイド

— 学校教育編 —

昨年度から、学校教育現場での当館所蔵資料の活用の便を図るため、「アーカイブズガイド-学校教育編-」の編集作業に取り組んでいます。これは、館蔵資料の中から、授業等で活用しやすい資料をピックアップし、わかりやすく解説したものです。これまでの成果を『山口県文書館研究紀要』第37号・38号に掲載しています。また、当館Webサイトでもご覧頂けますので、授業等でご活用ください。(Webサイト上では資料をカラーで掲載していますので、そのままプリントやスライドに使用できます)。

- 1 各トピックは中学校新課程用教科書の内容とリンクしていますので、小・中・高の年間授業計画の中に位置づけることができます。
- 2 現時点で、No.1～No.75までのトピックがあります。(当館Webサイトをご覧ください。)
- 3 請求番号と資料名を表しています。掲載資料はいずれも文書館で閲覧可能です。
- 4 教科書の記述に即したわかりやすい解説。難解な資料には読み下しを加えています。
- 5 本文の補足や、その他の資料所蔵状況など、授業の参考となる情報を欄外に紹介しています。

トピックサンプル

1 3-3-4 田沼の政治と寛政の改革

2 No.21 ロシアの接近



* 徳山毛利家文庫 条約 28「魯西亜志 下」に付属しているレザノフ(レザノツ)の絵

3

4 【解説】

1792(寛政4)年、ロシアのラクスマンは大黒屋光太夫ら漂流者3名を送還する名目で根室に来航し、幕府(老中松平定信)に通商を求めました。のち1804(文化元)年、ラクスマンが受けた長崎入港許可証とロシア皇帝の親書を携えて、レザノフが長崎の出島に来航しましたが、すでに定信は失脚しており、幕府は彼らを半年間出島に留め置いた末、長崎奉行遠山景晋(時代劇等でおなじみの遠山金四郎景元の父)が通商の拒絶を通告しました。

その後ロシア船が樺太・択捉を攻撃したことから幕府は諸藩に防衛を命じ、松前・蝦夷地を直轄化しましたが、その様子はNo.14の「唐太話」や「魯西亜騒動落書」(徳山毛利家文庫 条約 25)等に詳述されています。

「魯西亜志」は、ロシアの接近に危機感を持った幕府が、桂川甫周に命じてドイツの地理書を翻訳させたものですが、レザノフと下のロシア船の絵はもともとあったものでなく、あとから附属されたものです。

5 * 帰国した大黒屋光太夫は11代将軍徳川家斉、老中松平定信の前で聞き取りを受け、桂川甫周が「漂流御覧之記」としてまとめました。徳山毛利家文庫 条約 24「泰西諸説」にその写しがあります。
 * 幕府がラクスマンに与えた入港許可証の写しは、徳山毛利家文庫 条約 30「文化元甲子歳九月捧江府ヲロシア書翰阿蘭陀語訳訳仕候横文字和解并ヲロシア属国之地名」の末尾に合冊されています。
 * レザノフの来航は「両公伝史料」1189にも記述があります。



教科書の内容とトピックのリンク例

教科書の内容とトピックのリンクの様子を示した表の一部分です(表の全体は当館Webサイトをご覧ください)。教科書の各項目に対してトピックを対応させています。一つの項目に対して、複数のトピックがある場合もあります。

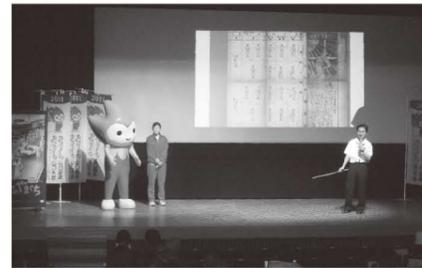
【教科書の内容】	《アーカイブズガイド-学校教育編-のトピック》
3 近世の日本	
3-1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	
3-1-1 キリスト教世界とルネサンス	
3-1-2 ヨーロッパと外の世界	
3-1-3 ヨーロッパ人との出会い	No.7 キリスト教の伝来
3-1-4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業	No.8 信長の統一事業
3-1-5 兵農分離と朝鮮侵略	No.9 朝鮮侵略(肥前名護屋城)
3-1-6 桃山文化	No.10 茶の湯
3-2 江戸幕府の成立と鎖国	
3-2-1 江戸幕府の成立と支配のしくみ	No.11 大名の統制(武家諸法度) No.48 幕府権力の確立(大坂の陣)
3-2-2 さまざまな身分とくらし	No.12 身分の統制(万治制法) No.49 村と百姓
3-2-3 貿易の振興から鎖国へ	No.13 鎖国(かれうた渡海停止) No.50 宗門改
3-2-4 鎖国下の対外関係	No.14 アイヌ民族との貿易 No.51 朝鮮と琉球王国(朝鮮通信使)
3-3 産業の発展と幕府政治の動き	
3-3-1 農業や諸産業の発達	No.15 農業の進歩 No.52 寛永通宝
3-3-2 都市の繁栄と元禄文化	No.16 三都の繁栄 No.17 生類憐れみの令
3-3-3 享保の改革と社会の変化	No.18 享保の改革(上米の制) No.19 寛政の改革(出版の統制)
1 3-3-4 田沼の政治と寛政の改革	No.20 江戸時代のききん
3-3-5 新しい学問と化政文化	2 No.21 ロシアの接近 No.22 蘭学(解体新書) No.23 教育の広がり(寺子屋) No.53 伊能忠敬
3-3-6 外国船の出現と天保の改革	No.24 大塩平八郎の乱
4 開国と近代日本の歩み	
4-1 欧米の進出と日本の開国	
4-1-1 近代革命の時代	
4-1-2 産業革命と欧米諸国	
4-1-2 ヨーロッパのアジア侵略	No.25 アヘン戦争
4-1-4 開国と不平等条約	No.26 開国(日米和親条約) No.27 日米修好通商条約
4-1-5 江戸幕府の滅亡	No.54 吉田松陰 No.28 下関戦争(四国艦隊下関砲撃事件) No.29 討幕の密勅
4-2 明治維新	
4-2-1 新政府の成立	No.30 五箇条の誓文・政体書 No.55 廃藩置県

TOPICS
トピックス2011

第六回中国四国地区アーカイブズウィーク
「ポスター・写真・映像に見る
昭和のやまぐち」

—昭和二十八年山口国体のころ—
平成二十三年六月一日(水)から五日(日)まで、第六回中国四国地区アーカイブズウィークを開催しました。

平成二十三年十月、山口県で四十八年ぶりに行われた国体になみ、アーカイブズ展示では、昭和三十八年山口国体ころの山口県の様子を当館所蔵のポスター・写真・映像で紹介しました。また、歴史探究講座では、昭和二十八年から四十年にかけて映画館で上映された山口県政PR用のモノクロ版ニュース映画である「県政ニュース」を大スクリーンで上映しました。ステージ上で三人のコメントーターが解説を行い、動画を通して「昭和のやまぐち」を振り返りました。



山口国体マスコット「ちよるる」も登場!

古文書実践講座を
開設しました

本年度から、当館の古文書講座に、新しく「古文書実践講座」が加わりました。その名のとおり、受講者の皆さんが、グループに分かれて古文書を主体的に読み進めていき、積文を作品としてまとめるものです。

今回使用したテキストは、萩藩主の御国廻りに関する記録です。毛利吉就(貞享元年)、吉広(元禄九年)、吉元(宝永五年)の三代の御国廻りについて、萩から防長のほぼ外周を時計回りに一巡するおよそ二〇里の行程を文書で追いました。

「この字は何と読む?」「いや、こっちの方が解釈として良いのでは?」などグループ内で熱い議論が交わされることもしばしば。難字と格闘しつつ、お互いの力を合わせて読み進めていきました。

来年度以降も、受講者の皆さんが生き生きと活動できるよう、文書館もしっかりとサポートして行きます。



「国民共有の知的資源」の保存と活用のために
—歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議—

平成二十三年四月一日付けで「公文書等の管理に関する法律」(公文書管理法)が施行されました。この法律は、公文書を「国民共有の知的資源」として明確に位置づけています。

公文書は、「役所の仕事のため」だけではなく、「みんなのため」みらいのために保存し、活用していくことが強く求められています。

十一月一日、昨年度に引き続き、県と市町職員による「歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議」を開催し、県内すべての一八市町から、文書管理担当課と文化財担当課の職員、および図書館職員等が集まりました。

萩市、山口市から、市町村合併以後の歴史的公文書保存のための取り組み事例が紹介され、活発な意見交換が行われました。



歴史的公文書等の保存と活用に向け、今後も、県と市町の情報交換と協力のための場として、続けていく予定です。



平成二十三年度公開の
諸家文書を紹介します!



今年度、一〇家、五、五九四点の諸家文書の閲覧を開始しました。その中から三つの文書群を紹介します。

◆河田家文書

河田家は、中世に周防国伊賀道(いかち)郷(現、柳井市)の土豪だった家です。文書は、河田家が戦国期に毛利氏のもとで伊賀道郷の公文を、江戸時代に吉川氏のもとで伊賀道村庄屋を務めたことに関わるものを中心とします。河田嗣郎は著名な経済学者で、親交のあった徳富蘇峰から彼に宛てた大正昭和初期の書簡も含まれています。

◆佐々木家文書

萩藩永代家老須佐益田家臣の萩野時行は、同永代家老福原家の儒者であった佐々木向陽の嗣子となって佐々木家を嗣ぎ、のちに明倫館教授や山口師範学校教諭を務めました。佐々木家文書には、吉田松陰が愛弟子である萩野時行(佐々木貞介)に与えた「士規七則」(松陰手沢の「宗元明奉使抄」が含まれています)。

◆藤岡家文書

藤岡家は、江戸時代に徳地宰判八坂村(現、山口市徳地)や先大津宰判神田上村(現、下関市豊北町)の庄屋を務めた家です。大内義興・義隆父子が、周防国問田・小鯖付近(現、山口市)で鷹狩と松茸狩りを楽しんだ際の記録は、戦国時代の大名の日常生活を伝える大変貴重な史料です。

■平成23年度公開の諸家文書

No.	文 書 名	点数	主な文書の年代	文書群の特徴(関連地域、個人・家の歴史、就任役職等)
1	雨村家文書(追加)	655	近代~現代	収集史料/絵はがき・写真・地図・観光案内
2	小野家文書	1,690	近世~昭和戦後期	萩市江崎/庄屋/浦年寄/越荷方頭取/村会議員/医師
3	河崎家文書(追加)	1,703	近世~昭和戦後期	美祢市/大庄屋/庄屋/協同会社
4	河田家文書	64	中世~昭和戦後期	柳井市/公文/庄屋/徳富蘇峰 ▼柳井市指定有形文化財
5	木村家文書	161	近世~昭和戦後期	山口市阿東/畔頭/村会議員
6	佐々木家文書	12	近世~近代	明倫館教授/吉田松陰
7	藤岡家文書	1	中世	下関市豊北町/大内氏
8	三戸家文書	325	近世	萩藩士(大組)
9	宮崎家文書	145	近世~近代	美祢市/給庄屋/給畔頭
10	亙理家文書	838	近世~昭和戦後期	萩藩宍戸家臣/村会議員/中学校教員/種田山頭火

江戸幕府の国絵図作製事業



①長門国絵図 335×480cm



③萩絵図 273×266cm



②周防国絵図 330×553cm



④長門国・周防国郷帳



⑤長門・周防国大道小道并灘道舟路之帳(道帳)

*①②④⑤=毛利家文庫58絵図238、③=毛利家文庫58絵図409

江戸幕府は、諸侯に対して、慶長、正保、元禄、天保の4度にわたって国絵図の作製を命じました。写真①②は、慶安2年(1649)、萩藩が幕府へ提出した長門・周防国絵図(正保国絵図)の控図です。縮尺は、幕府の基準による6寸1里(21,600分の1)です。諸国から幕府へ提出された正式の正保国絵図は現在ではすべて失われており、作製当時の状態を知る上で貴重な資料となっています。

写真③④⑤は、正保国絵図にあわせて提出が命じられた、「城絵図」、「郷帳」、「道帳」です。幕府が国絵図作製にあたって必要とした資料一式が揃っています。

ちなみに、当館所蔵の毛利家文庫と県庁伝来旧藩記録には、元禄・天保国絵図関係の絵図並びに関連提出物と関係文書も残っており、幕府の国絵図作製事業の細かな内容を知ることが出来ます。

なお、写真①②は当館Webサイトで、原寸大の高精細画像をご覧いただけます。



山口県文書館

〒753-0083 山口県山口市後河原150-1
TEL083-924-2116 FAX083-924-2117 <http://ymonjo.ysn21.jp/>

利用案内

【開館時間】火曜日～日曜日 9:00～17:00
【閉館日】月曜日、祝日、月末整理日、年末年始、春秋資料点検期間、月曜日が祝日の場合は翌火曜日

※文書館は山口県立山口図書館と同じ建物内にあります。
閲覧室へは2階へお上がりください。
※毎月の開・閉館日は、当館Webサイトの閲覧室カレンダーをご覧ください。

[表紙写真]「防長両国大絵図(正保国絵図)のうち長門国」(毛利家文庫58絵図238、山口県文書館蔵)